

第2回 新居浜市山田社宅保存活用計画策定委員会 会議録

日 時：平成30年6月29日（金）13：30～17：20

場 所：新居浜市役所 33会議室

出席者 委員 4人

末岡 照啓 委員長、矢ヶ崎 善太郎 委員、清水 真一 委員、花岡 直樹 委員

関係課 5名

広瀬歴史記念館 久葉、土岐

建築住宅課 高須賀、越智

都市計画課 山下

事務局 5名

原企画部長、企画部別子銅山文化遺産課 秦野、藤田、濱岡

教育委員会文化振興課 高橋

受託者（保存活用計画策定業務）2名

住友林業ホームテック株式会社 大澤 康人、神野 賢

文化庁の定める「登録有形文化財建造物修理の設計監理にかかる技術指導」者

株式会社文化財構造計画 富永 善啓

傍聴 1名 ハートネットワーク

議 題 前回までの経過報告

(1) 保存活用計画策定の概要と流れについて

(2) 保存活用計画策定に係る各課題及び対応について

(事務局)

定刻となりましたので、ただ今から、第2回山田社宅保存活用計画策定委員会（以下「策定委員会」）を開会いたします。

まず、本日の策定委員会は、山田社宅保存活用計画策定委員会設置要綱（以下「要綱」）第6条の規定により、委員の出席者が過半数を超えておりますので、委員会は成立しております。

それでは、要綱第6条の規定により、議事進行を委員長において、お願いいたします。

(委員長)

それでは、山田社宅保存活用計画策定委員会を開会いたします。

まず、本日の会議の公開についてであります。事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

新居浜市審議会等の公開に関する要綱第3条に基づきまして、原則公開となっております。ただし、各法人・団体・個人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害すると認められる場合は非公開となります。各委員の研究中の事例等の未確定な事例等も取り上げられる場合は非公開となります。今回の審議内容については、事前に各委員さんに照会したところ、「各委員の研究中の事例等、未確定な事柄」が含まれるということでもあります。

(委員長)

それでは、委員の皆さんにお伺いいたします。本委員会は、冒頭の経過報告のみ公開とし、各議題の審議については、各委員の研究事項・事例等が含まれるということから、非公開として取り扱うことでよろしいでしょうか。

(各委員 異議なし)

(委員長)

今回は、冒頭の経過報告までの公開といたします。

それでは、前回の会議の経過について、事務局から報告をお願いいたします。

(事務局)

前回の議題1「保存活用計画策定の概要と流れについて」では、社宅の概要を含めた市内の産業遺産の概要と地方創生予算による整備概要について説明を行いました。

新居浜市における産業遺産の全体像として、「第五次新居浜市長期総合計画」、「別子銅山近代化産業遺産を活かしたまちづくり総合整備計画」に基づく山田社宅の整備であり、かつ、RCC新居浜のレガシーゾーンの整備であることの説明を行いました。

地方創生予算の整備概要としては、28年度耐震診断、現場調査、図面作成を行い、29年度住友金属鉱山別子事業所所長宅の耐震補強と雨漏り補修等、30年度予算として住友化学工場長宅の耐震補強と雨漏り補修等、住友金属鉱山西洋社宅東棟の屋根の葺き替えと外壁の塗装を予定しています。

今後の予定として、30年度に山田社宅保存活用計画を策定し、31年度周辺整備を含めた実施設計、32年度以降工事着工を予定しておりますが、予算も伴う事なので未確定な部分があります。

平成29年度から30年度までの地方創生予算に基づく整備は、いずれも雨漏り等がございますので、山田社宅保存活用計画策定と工事を平行して行う事を了承して頂きました。

次に、議題2「保存活用計画にかかる各課題と対策について」では、山田社宅の現状と課題、疑問点など、共通認識を図りました。

(1) 保存活用計画の概要（構成章立て）

文化庁の補助指針を遵守し、重要文化財活用計画策定指針に基づいて行うもの。

計画については、4つの計画（保存管理計画・環境保全計画・防災計画・活用計画）と、「計画の概要」、「保護に係る諸手続き」に歴史的意義を加えて、全7章の構成とした

い。歴史的意義については、非常に重要な要素であるので第一章にて構成したい。

(2) 社宅の調査概要、地方創生予算による工事概要、住友金属鉱山別子事業所所長宅、住友化学愛媛工場長宅の調査及び概要と山田社宅保存活用検討委員会での保存活用計画に対する考え方を報告させて頂いています。

住友金属鉱山西洋社宅の方針確認や価値付けが必要で、何を残すのか、何を保存すべきかが大切になってくるといった議論を前回の委員会で行いました。

(前回の委員会での課題)

- 1 それぞれの建屋の改変履歴調査
- 2 住友金属鉱山別子事業所所長宅の耐震補強案の再検討
本件については、大澤さんから説明をお願いします。

(大澤)

所長宅については壁が少なくトイレに耐力壁を設けていたが、構造的にも分離しているところのご指摘があり、中廊下周辺に耐力壁を増やし評点 1.0 を確保することができました。既にこの部分の耐震工事は完了しております。

(事務局)

引き続き、前回委員会での課題として、

- 3 瓦の井桁マークの確認については、事務局では確認出来ていません。
- 4 床下、基礎状況、柱チリについては、後ほど、大澤さんから報告あります。
- 5 住友化学愛媛工場長宅の納屋の扱いについては、建設当初より納屋があったか確認出来ていません。
- 6 住友共同電力社宅 2 棟の取扱いについては、環境計画に入れて必要な調査、保存整備の中に入れて盛り込む予定です。
- 7 保存活用計画の策定に係る文化庁への報告については、清水委員より文化庁との合意形成の中で作るべきところのご指摘があり、早速、愛媛県に問い合わせて文化庁へ確認をしました。前回報告した通り、調査官が 2 回ほど見にくらされたことは保存活用計画の策定について承諾又は認識があり、折を見て報告すれば良いとの回答があった。進行状況に応じて報告したいと思います。

以上です。

(委員長)

前回の会議については、以上のような経過です。

何かご意見、ご質問はございませんか。

なければ、「議題 (1) 社宅の価値づけと保護の方針について」に入ります。

これ以降については、非公開といたしますので、傍聴者の方は、御退席をお願いします。

(傍聴者：退場)

(非公開部分)

閉 会